

新病院の機能について

病院建設課長 飯田邦雄

いつの間にか、桜の花も咲き乱れ春の暖かさを実感する今日この頃となりました。

さて、新病院の建設工事は平成10年度より建設工事に着手し、平成12年10月に旧病院の機能を移転と共に病棟部分を239床にて部分開院を行いました。引き続き、旧施設の解体工事を行い、第1期の工事の完成を目指しているところです。

工事の進行状況としましては、現在は外装工事と内装工事を行っています。

この後、各種医療設備等を整備し年末には、ほぼ完成する予定です。

その後、仮設にて他の部署が使用している救急観察室・診察室および人工透析室等の改修工事、並びに外構工事・駐車場工事を進め平成15年3月末に全館完成する予定となっています。

なお、これからの工事を進めるうえでは通行路の変更や受付カウンターの移設等、様々な変更を段階的に行いながら全館の完成となりますので、利用される皆様方のご協力のほどよろしく願いいたします。

さて全館完成時にできる建築計画の主な特徴としては、

防災計画

東面に避難滑り台付のバルコニーを設置します。さらに、救急患者・災害時物資搬送用として、屋上にヘリポートを設置し、災害時には災害拠点病院としての役割が担えるように医療用薬品の備蓄倉庫を設置します。

省エネ計画

エネルギーの効率利用および環境保全を考え、熱源はガスを中心としたコージェネレーションシステムが稼働します。



その他

室内環境維持のため、床清掃用に中央集塵システムを導入します。敷地内に一部自走式立体駐車場を整備し300台(うち、6台は身障者用)の駐車が可能となります。

また、診療体制では、現行の17科に加え呼吸器科、神経内科、代謝・内分泌科、精神科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科の24科体制となる予定です。

病棟においては、一般病棟に加えて脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの患者さまに対して日常生活動作(ADL)能力の向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションプログラムをスタッフ(医師、看護婦、理学療法士、作業療法士等)と共同で作成し集中的にリハビリテーションを行うための病棟を5階東病棟に造ります。

健康管理センターの充実

近年の生活習慣病から市民の健康を増進し予防医学に努めるため、人間ドック等の健康管理部門を一新し充実して市民の健康管理及び健康の増進に寄与します。

人工透析室の設置

現在わが国では約10万人の腎不全の方

が透析治療を受けています。腎不全のほかにも劇症肝炎、重症筋無力症などの自己免疫疾患、家族性高コレステロール血症の方のために人工透析を行うための人工透析室を設置します。

救急医療

救急医療サービスを24時間にわたり提供し、他の医療機関及び消防署との連携を強化し市民の期待及び要望にこたえられるように救急体制を充実します。

さて、新病院建設ということで市民の皆様方に利用しやすい、安らぎを与えられる病院を目指して工事を行っています。本来は利用されることが少なくなるように、また、いざ利用されるときに安心を与えられることができればと思います。完成の日を待ち望んでいる毎日です。

最後に、市民の皆様がこれからの高齢化社会をいかに充実し暮らしていかれるのかを支えていくため「かながわ健康づくり21」より健康づくり10カ条を付け加えさせていただきます。健康な人づくり・体力づくりの目安としていただけますようお願いいたします。

1. 体重は健康の指標

肥満は、生活習慣病の近道へととなります。極端な痩せ指向（過度な減量）は、将来の生活習慣病の原因につながります。

2. 食事は、おいしく、楽しく、きちんと食べよう

野菜、乳製品、豆類等が組み合わされた食事は生活習慣病予防に大切です。脂肪分のとりすぎは、生活習慣病を招きます。食事は楽しく、質と量を考えて食べるようにしましょう。

3. 食塩の摂取を少なくしよう

食塩の取りすぎは、高血圧症、ひいては脳卒中や心臓病を起こしやすくします。また、塩辛い食品のとりすぎが、胃癌の原因になるといわれています。食塩摂取量は増加傾向です。1日10グラム未満を目標にしましょう。

4. 身体を動かそう

運動は動脈硬化を防ぐことで知られています。運動不足は、肥満や高血圧症、高脂血症、糖尿病の原因になります。生活の近代化で、日常生活で身体を動かすことが減っています。年齢や体力にあった身体活動や積極的に歩く事等に努めましょう。

5. ぐっすり眠り、心地よく目覚めよう

休養は身体的・精神的疲労回復のために重要です。特に睡眠時間が短いと疲労回復ができず、ストレスがたまり、様々な病気を引き起こします。

6. 上手にストレスを解消しよう

誰にでもストレスはあり、健康に影響していることが知られています。ストレスがきっかけで生活習慣病を引き起こしたり、鬱状態になったりします。ストレスは溜めない事が大切です。ストレス解消に積極的に取り組みましょう。

7. 煙草を止めよう

喫煙は、癌・心臓病等に大きく関係し、歯周病の原因にもなります。肺癌は増加しています。

8. 飲み過ぎ注意、お酒は程々に

一日の平均アルコール摂取量が増えると死亡率が上昇すると言われていています。飲みすぎは肥満や糖尿病等の生活習慣病を引き起こします。

9. いつまでも不自由なく、何でも食べることができるように

健康を維持するために、何でも食べられる歯があることは大切です。歯の手入れを怠ると、早い時期から食べることに不自由します。食べることが楽しくなれば、生活にも潤いが出てきます。

10. 自分で健康・生活習慣のチェックをしよう

良い生活習慣を守っていても、他の原因で病気になることもあります。積極的・定期的に健診を受けて、早期の病気の発見に努めましょう。健診で生活習慣のチェックもできます。健診は受けっぱなしではなく、自分の生活の改善に役立てましょう。